

(4) 学校教育学部

② 教務関係

教務委員会における、運営・活動の状況や優れた点及び今後の検討課題等については下記のとおりである。

ア 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

令和3年度においては、教務委員会を16回開催した。

ii) 審議された主な事項

学部の教務に関する主な審議事項は、以下のとおりである。

- 1) 令和3年度卒業判定
- 2) 令和3年度転専修・コース判定及び専修・コース分け
- 3) 令和3年度学部1年次生及び3年次生の進級判定
- 4) 令和3年度前・後期学部再試験の実施・評価
- 5) 令和3年度科目等履修生、特別聴講学生の受入れ等
- 6) 令和3年度学年暦
- 7) 令和3年度開設授業科目・授業時間割
- 8) 令和3年度非常勤講師担当授業科目
- 9) 令和4年度ティーチング・アシスタント等の実施計画
- 10) 令和4年度授業時間割の編成方針の整備
- 11) 令和4年度副専攻プログラム受講者の選考
- 12) 大学院授業科目早期履修受講者の選考
- 13) 成績評価に対する異議申立てに関する取扱細則の一部改正
- 14) 監事監査所見に係る対応
- 15) 教務関係学内規則の制定・改廃

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

令和元年度からの大学改革に基づく学部の教育課程全般をはじめ、副専攻プログラム（小学校英語副専攻プログラム及び小学校プログラミング・テクノロジー副専攻プログラム）の運用を行った。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策による授業運営方針を引き続き検討し、円滑な授業実施のための整備を行った。

あわせて、平成29年3月22日（水）にカリキュラム企画運営会議で決定した「アクティブ・ラーニングを取り入れるための方針」に基づき、人文棟中小講義室のAV機器のデジタル化等、講義室の教育環境を引き続き整備した。

イ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 優れた点

令和元年度からの大学改革に基づく学部の教育課程全般をはじめ、副専攻プログラム（小学校英語副専攻プログラム及び小学校プログラミング・テクノロジー副専攻プログラム）の運用を行った。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策による授業運営方針に基づく授業実施のほか、オンライン授業への対応として設備充実を行った。

ii) 今後の検討課題

- ・アクティブ・ラーニングに対応した講義室の教育環境整備
- ・令和4（2022）年度大学改革に伴う、教務関連事項の対応
- ・高等教育段階の教育費負担軽減新制度への対応
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策の実施及び遠隔授業への対応